

経		過	
受領日	検査日	処理日	担当

建築設備工事監理報告書

平成 年 月 日

株式会社 国際確認検査センター 様

(株) 国際確認検査センター確認検査業務約款第 2 条第 4 項の規定による監理状況を報告します。この監理報告書は事実に相違ありません。

工事監理者 (級) 建築士 (大臣・知事) 登録 第 号
 資格 氏名 氏名 ㊟
 建築士事務所名 (級) 建築士事務所 () 登録 第 号

建築設備に関し意見を聴いた者の氏名・勤務先名 建築設備士 () 登録 第 号
 () 登録 第 号 氏名 ㊟

建築工事施工者 (建築工事業) 建設業の許可 (大臣・知事) 第 号
 登録 氏名 監理 (主任) 技術者名 ㊟

設備工事施工者 (A) (工事業) 建設業の許可 (大臣・知事) 第 号
 登録 施工者名
 氏名 監理 (主任) 技術者名 (資格・) ㊟
 (B) (工事業) 建設業の許可 (大臣・知事) 第 号
 施工者名
 監理 (主任) 技術者名 (資格・) ㊟
 (C) (工事業) 建設業の許可 (大臣・知事) 第 号
 施工者名
 監理 (主任) 技術者名 (資格・) ㊟

概要

建築物の名称								
建築主氏名								
敷地の地名地番								
確認年月日・番号	平成 年 月 日 第 号	計画変更確認 (最新のもの)	平成 年 月 日 第 号					
建築物の概要	用途			工事種別				
	階数	建築面積 m ²		延べ面積 m ²				
建築設備の概要 該当する番号に ○印を ○印のみの様式を添付	1	機械換気設備		6	避雷設備 (建築物等の高さ m)			
	2	感知器と連動して閉鎖する防火設備		7	ガス設備 (3F以上の共同住宅のみ)			
	3	排煙設備	4	非常用照明装置	8	シックハウス対策用換気設備		
	5	給水、排水その他の配管設備		9	機器・機材の変更 (認定番号・型番等)			

(注) * 建築設備士は、工事監理に関して建築設備士に意見を聞いた場合に記入します。
 * 設備工事の監理 (主任) 技術者の資格は、当該工事に関連する資格 (例・一級電気 (管) 工事施工管理技士) などを記入します。
 * ㊟ は監理 (主任) 技術者等とする。

1. 機械換気設備 (法第28条・64条・令第20条の2及び3 第22条の2・第28条・第112～114条・第129条2の4～6)		
報 告 事 項	状 況	
<p>* 有無に○印を□印には該当する項目に✓を付し()は記載する。</p> <p>1. 火気使用室 有 無</p> <p>熱源 □ ガス (下表に記載) □ 電気 (換気扇の設置) □有 □無 (下表に記載)</p> <p>(1) ファンの種類 □ 壁用、レンジフード用換気扇 (主に住宅・住戸用) □ フード及びダクトに接続する中・大型ファン</p> <p>(2) フードの材質・形状・位置及び取付け状態 良 否</p> <p>(3) ファンの位置・取付け及び運転状況 良 否</p> <p>(4) 給気口(ガリ等)の位置・形状及び取付け状態 良 否</p> <p>2. 直接外気に面しない便所・「ファンの取付け及び運転状況」 . . . 有 無 . . . 良 否</p> <p>3. 無窓・地階(換気上)の居室 . . . 「同上」(様式3に記載) . . . 有 無 . . . 良 否</p> <p>4. 集会場等の用途に供する居室 . . . 「同上」(様式3に記載) . . . 有 無 . . . 良 否</p> <p>5. 中央管理方式の空気調和設備 (定義・次頁に参考文あり) 有 無</p> <p>(1) 空気調和設備方式〔空調規模・階・延面積 m²〕(様式3に記載)</p> <p>(2) 空調機器等の取付け(含耐震措置)及び空調機器の運転状況 良 否</p> <p>6. 個別分散型空調設備等 (組・系統)(様式3に記載) 有 無</p> <p>(1) 空調・冷暖房・換気機器、配管等の取付け(含耐震)及び各機器の運転状況 良 否</p> <p>7. 中央管理室 (高さ31mを超える建築物・他) 有 無</p> <p>(1) 上記7の「制御及び作動状態の監視の状況」(制御と監視の項目を記載) . . . 良 否</p> <p>(2) 機械換気設備に係る前記の「 」内(部分的なもの除く) . 有 無・(同上) . . 良 否</p> <p>8. ダクトの設置条件と使用材料</p> <p>(1) 火気使用室用 □ 亜鉛引鉄板 □ スパイラルダクト(不燃材)</p>		<p>(2) 階数3・延面積3000㎡以上等 □ 亜鉛引鉄板 □ スパイラルダクト(不燃材)</p> <p>(3) (2)以外及び宿泊室・住戸等(火気室用を除く) □ 亜鉛引鉄板 □ スパイラルダクト(不燃材) □ 非不燃材料(VP等)</p> <p>(4) 前記1～8に係るダクトの位置・形状及び取付け状態 良 否</p> <p>9. 延焼の恐れのある外壁に設ける給・排気口の防火設備 有 無</p> <p>(1) 防火設備の種類 □ 防火ダンパー (個) □ 防火覆い(ダンパー付) (個) □ 防火覆い(100φmm以下) (個)</p> <p>(2) 天井点検口の設置 . . . 有 無 (箇所) 設置状態 良 否</p> <p>(3) 防火設備の取付け及び貫通部のモルタル等による穴埋め状態 良 否</p> <p>(4) 防火ダンパーの作動状況(温度ヒューズ・適合マークの確認) 良 否</p> <p>(5) 給・排気口に雨水・虫・ほこり等を防ぐ措置 良 否</p> <p>10. 延焼の恐れのない外壁に設ける給・排気口の開口部 有 無</p> <p>(1) 給・排気口に雨水・虫・ほこり等を防ぐ措置 良 否</p> <p>11 防火区画等に設ける防火設備(防火ダンパー) 有 無</p> <p>(1) 閉鎖方法の種類と数量 □ 煙感知器と連動式 (個) (熱感知 個) . . . (様式4に記載) □ 温度ヒューズ式 (個) (次の(2)～(4)に記載)</p> <p>(2) 天井点検口の設置 . . . 有 無 (箇所) . . . 有 無 設置状態 良 否</p> <p>(3) ダンパーの取付け(含耐震)及び貫通部のモルタル等による穴埋め状態 良 否</p> <p>(4) 防火ダンパーの作動状況(温度ヒューズ・適合マークの確認) 良 否</p>
<p>注1：壁用換気扉は、風量測定(a)を省略して定格風量(b)を記載することができる。</p> <p>注2：換気内容が同類のものは、代表のものに記載で可。</p> <p>注3：下表に記載できない場合、又は全てを下表に準ずるものに記載して添付することができる</p>		

換気NO	火気使用室	同類戸数	器具名称	同型器具数	係数 N 告示1826	理論排ガス量 K	各燃料消費量 q (Kw・kg/h)	燃料消費量合計 Q = Σq	法定換気量 V=NKQ (m ³ /h)	設計換気量 (m ³ /h)	a 実測風量 (m ³ /h) b 定格風量 (m ³ /h)
					□ 20 □ 30 □ 40	□ 都市・LPガス 0.93m³/kwh					□ a □ b
					□ 20 □ 30 □ 40	□ 電 気					□ a □ b
					□ 20 □ 30 □ 40	30 m³/kwh ()					□ a □ b

3. 排煙設備 (令第126条の2～3 第112・113条 第129条の2・2の2 第129条の13の3)		良	否
報 告 事 項	状 況		
* 有 無に○印を □ 印には該当する項目に ✓ を付し () 内は記載する。			
A. 排煙設備の設置除外 (本文ただし書きの適用) 有 無 適用 . . .	良 否		
1号 □ 共同住宅 (200㎡) □ 同 (100㎡区画) □ 病院・ホテル □ ()			
2号 □ 学校等 3号 □ 階段 □ 昇降機の昇降路と乗降ロビー			
4号 □ 機械製作工場等 5号-1 □ (告示1436、四口) ガス消火他			
5号-2 告示第1436号第四号ニの各号を適用した室又は居室 . . . 有 無			
室 ① (室数)・内装制限・開口部で屋外用以外は防火設備等の状況 . . .	良 否		
〃 ② (室数)・床面積100㎡以下・防煙壁での区画の状況 . . .	良 否		
居室 ③ (室数)・床面積100㎡以内・準耐火・内装制限・防火設備の状況 . . .	良 否		
〃 ④ (室数)・床面積100㎡以下・内装制限 (下地とも不燃) の状況 . . .	良 否		
避難安全検証法の適用 □ 階避難 □ 全館避難 有 無 . . .	良 否		
B. 自然排煙設備 有 無			
□ 右以外 □ 特避階段付室 □ 非常EVロビー □ 付室兼用ロビー (特避階段付室等の外気に向って開く窓は除く) . . . 有 無 . . .	良 否		
B1. 防煙区画 区画数 () 区画)			
(1) 防煙垂れ壁 (固定式・間仕切壁を含む) 位置・丈・材質 及び 取付け状態	良 否		
(2) 防煙垂れ壁 (煙感知器連動式) 「同上」 (様式4に記載) 有 無 . . .	良 否		
(3) 500㎡区画の適用除外 (告示1436、二) 有 無 . . .	良 否		
B2. 排煙口			
(1) 容易に開閉できる窓等 (B4への記載は不要) 有 無 . . .	良 否		
(2) 手動開放装置で開放する排煙口 () 箇所) (B4に記載) 有 無 . . .	良 否		
(3) 排煙口の形状・寸法・位置 (□ 高天井の適用) ・取付け及び開放状態	良 否		
(4) 排煙風道 (特避階段・非常EV用) の形状・寸法 及び 設置状態 有 無 . . .	良 否		
B3. 給気口 (特避階段の付室・非常EVのロビー用) 有 無			
(1) 給気口と給気風道の形状・寸法・位置 及び 設置状態	良 否		
B4. 手動開放装置			
(1) 設置数 () 箇所) 及び 開放方式 () と使用方法の表示	良 否		
(2) 取付け状態 及び 手動開放装置による排煙口の開放状況	良 否		
C. 機械排煙設備 有 無			
□ 右以外 □ 特避階段付室 □ 非常EVロビー □ 付室兼用ロビー			
C1. 防煙区画			
(1) 防煙垂れ壁 (固定式・間仕切壁を含む) 位置・丈・材質 及び 取付け状態	良 否		
(2) 防煙垂れ壁 (煙感知器連動式) 「同上」 (様式4に記載) 有 無 . . .			
(3) 500㎡区画の適用除外 (告示1436、二) 有 無 . . .			
(4) 防火シャッター等による他の排煙方式との防煙区画 . . . 有 無 . . .			
C2. 排煙口			
(1) 防煙区画 () 区画) ・排煙口 () 箇所)			
(2) 排煙口の形状と位置 及び 取付け(含耐震) 状態	良 否		
(3) 排煙の状況 (風量測定記録を添付する)	良 否		
C3. 給気口 (特避階段の付室・非常EVのロビー用) 有 無			
(1) 給気口と給気風道の形状・寸法・位置及び 設置状態	良 否		
C4. 手動開放装置			
(1) 設置数 () 箇所) ・開放方式 () と使用方法表示	良 否		
(2) 取付け状態 及び 手動開放装置による排煙口の開放状況	良 否		
C5. 排煙ダクト			
(1) ダクトの材質 □ 鉄板 □ () 最大寸法 (×)			
(2) 断熱材の被覆 (被覆箇所) とその状態	良 否		
(3) 防火ダンパー (温度ヒューズ 度) の設置状況 . . . 有 無 . . .	良 否		
(4) 天井点検口の設置 有 無 . . .	良 否		
(5) ダクト・ダンパーの取付け(含耐震)、貫通部モルタル等による穴埋め状況 . . .	良 否		
C6. 排煙機			
(1) 設置数 () 台・最大機器の能力 () m ³ /h () pa)			
(2) 設置場所 □ 室内 () □ 屋外 ()			
(3) 据付状態(含耐震) 及び排煙口の開放に伴う自動起動の状況	良 否		
(4) 起動と連動して空調設備等の運転停止 有 無 . . .	良 否		
D. 予備電源等及び監視制御			
D1. 自家発電装置 () kVA) □ 認定制度による認定品 . . . 有 無			
(1) 停電検出・発電・電源切替えの作動状況	良 否		
(2) 据付状態(含耐震) 及び 運転状況	良 否		
D2. モーター駆動 エンジン () PS) 直結方式 有 無			
据付状態 及び 停電検出・エンジン切替え運転の状況	良 否		
D3. 電気配線等			
(1) 電線の種類 □ 耐火・耐熱電線 □ 耐火・耐熱ケーブル □ その他 ()			
(2) 配線の方法 □ 配管 □ ケーブル □ 埋設 □ 隠蔽 □ 露出			
(3) 配線の状態 (含耐震)	良 否		
(4) 分電盤等の耐熱措置	良 否		
E. 中央管理室 (高さ31mを超える建築物・他) 有 無			
中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	良 否		
(制御と監視する項目を提示する)			

排煙風量測定記録

測定日 平成 年 月 日
 測定者 氏名 _____ 印
 会社名 _____

製造者名

排煙機 製造者名 型番
 発電機 製造者名 出力 KVA、定格電圧 V
 エンジン製造者名 出力 PS

階	区画番号	防煙区画名 (室名等)	区画床面積 (m ²)	排煙口開口面積		法定風量 (m ³ /h)	設計風量 (m ³ /h)	測定風量 (m ³ /h)	排煙機の能力 [m ³ /h × kW × Pa]
				番号	(m ²)				

4. 非常用照明設備 (令第126条の4及び5)

報 告 事 項	状況等
1. 予備電源内蔵型	有 無
(1) 配線の状態	
<input type="checkbox"/> 配線の途中にスイッチがないこと	良 否
<input type="checkbox"/> 結線の状態	良 否
(2) 照明器具	
<input type="checkbox"/> 大臣認定等	有 無
<input type="checkbox"/> 照明器具(台) 取付状態及び点灯状況(照度測定結果を報告のこと)	良 否
<input type="checkbox"/> 予備電源内蔵コンセント型照明器具	有 無
a. 差し込みプラグが容易に抜けないこと	良 否
b. 予備電源内蔵コンセント型照明器具である旨の表示	良 否
2. 予備電源別置型	有 無
(1) 予備電源の種類	
<input type="checkbox"/> 蓄電池(V AH)	
<input type="checkbox"/> 蓄電池(V AH)と自家発電機(KVA)の併用	
(2) 停電検出・予備電源切替え装置の作動状況及び復帰状況	良 否
(3) 予備電源の据付(含耐震)状態	良 否
(4) 電気配線	
* 電線の種類 <input type="checkbox"/> 耐火・耐熱電線 <input type="checkbox"/> 耐火・耐熱ケーブル <input type="checkbox"/> その他()	
* 工事の種類 <input type="checkbox"/> 配管工事 <input type="checkbox"/> ケーブル工事 <input type="checkbox"/> その他()	
* 工事の方法 <input type="checkbox"/> RC埋設 <input type="checkbox"/> 天井いんぺい <input type="checkbox"/> 露出	
* 配線の状態	
・配線の途中にスイッチ等がないこと	良 否
・結線の状態	良 否
(5) 分電盤の耐熱措置と非常用の照明回路である旨の赤文字の表示	良 否
(6) 照明器具(台) 取付状態及び点灯状況(照度測定結果を報告のこと)	良 否

照 度 測 定 記 録

測定日時 平成 年 月 日 測定開始時刻 午前・午後 時 分

測定者
氏名 _____ (印)

会社名 _____

測定器具名
形式番号等

場 所	非常用照明器具のランプの種類* (W)					実測値 (lx)
	ハロゲン/ 台数	白熱灯・他 / 台数	蛍光灯/ 台数	LED/台数	最低照度	
階	室名等					

注1：照度測定は、夜間等 外光の影響のない時間帯に実施する。
 注2：測定箇所は、非常用の証明器具を設置した各居室及び廊下、階段等の各々において比較的照度の低い箇所で行う。
 注3：測定結果は、照明器具の取付け位置を明示した平面図上の測定箇所に、測定値を記入したものを別途添付する。ただし、平面プランが類似のものは、代表の階のもので可。
 照明器具の設置台数が各階に於いた数台程度の場合は、右表を用いることができる。

5. 給水、排水その他の配管設備 (令第112~113条・第129条の2の5、告示1447号)			
報告事項	状況		
* 有無に○印を□印には該当する項目に✓を付し()内は記載する。			
1. 給水設備			
(1) 水源・給水方式及びポンプの状態			
・□水道水 □井戸水 □他()			
・□直圧 □水道管直結増圧ポンプ			
□受水槽・加圧ポンプ □受水槽・揚水ポンプ・高架水槽			
ポンプ能力(ℓ/min(M・Kpa)× 台)及び据付(含耐震)状態・	良 否		
ポンプの位置 □ポンプ室 □槽の横・下 □槽内 □他()			
給水本管等との接続及び敷地内の管の材質と施工状況・・・	良 否		
(2) 給水タンク等			
1) 受水槽 (有効容量 m³)・・・有無			
設置場所 □屋外 □屋内 □地階(浸水の恐れ・・・有無)			
浸水警報装置の設置(場所)及び作動状態・・・	良 否		
2) 高架水槽 (有効容量 m³)・・・有無			
設置場所 □屋外 □屋内 □独立塔			
3) 点検スペース (おおむね上部1m、他の5面0.6m以上)・・・	良 否		
4) 水槽の付帯設備 マンホール・水抜管・オーバーフロー管・通気管・吐水間空間・・・	良 否		
5) 水平地震力の確認	良 否		
2. 排水設備 □公共下水道(□合流 □分流) □都市下水路 □河川			
□水路・側溝 □他()			
(1) 下水本管等との接続及び阻集器(油脂・ガソリン)の有・無と状況・・・	良 否		
(2) 敷地内の管の材質・樹(排水トラップの有無)の位置・勾配の状況・・・	良 否		
(3) 排水槽・・・有無・・・槽の構造等の状況・・・	良 否		
3. 尿尿浄化槽 ・・・有無			
(1) 処理対象人員(人) 処理水量(m³/日)			
処理方式() 認定番号()・・・	良 否		
(2) 漏水(24時間)試験及び運転並びに放流先の状況・・・	良 否		
4. 全ての配管設備の状態			
(1) 配管の取付け(耐震措置を含む)及び支持金物のさび止めの措置・・・	良 否		
(2) 振動・衝撃及び伸縮・変形に対する損傷防止措置・・・	良 否		
(3) 給水設備(流し・洗面・浴槽・散水栓等)に吐水間空間の確保・・・	良 否		
(4) 排水設備(流し・洗面・浴槽と床等)に排水トラップの措置・・・	良 否		
(5) 給水・汚水・通気・雨水(2・(2)を除く)の各管の兼用・連結がない確認・・・	良 否		
5. 給湯器の転倒等防止対策の措置 (満水時の質量が15Kgを超える) 有無			
(1) 給湯器の固定、緊結方法 □底部、脚部、□上部固定、自立、□側部	良 否		
(2) アンカーボルト等の適正な選定や配置状況	良 否		
(3) アンカーボルト等の取付状態	良 否		
5. 防火区画等を貫通する配管設備			
(1) 防火区画貫通部の有無と配管材料等の一覧			
給水管 有・無 □VLP □SUS □SGP □HIVP □VP			
□他() □異種管組合せ(材 :ヨコ)			
汚水管 有・無 □CIP □FDP □VP □DVLV □他()			
□異種管組合せ(材 :ヨコ)			
雑排水管 有・無 □SGP □DVLV □FDP □VP □他()			
□異種管組合せ(材 :ヨコ)			
通気管 有・無 □汚水と同じ □雑排水と同じ □VP □他()			
配電管 有・無 □CP □VE □(ケーブル等認定工法)			
(2) 上記(1)の配管材質別、貫通部の措置			
1) 鋼管等(不燃材料)で全て・・・有無			
□給水管 □汚水管 □雑排水管 □通気管 □配電管			
2) 貫通部の前後1mを不燃材料(令第129条の2の5)・・・有無			
□給水管 □汚水管 □雑排水管 □通気管 □配電管			
3) VP等(細管)は告示第1422号の適用・・・有無			
□給水管 □汚水管 □雑排水管 □通気管 □配電管			
4) 大臣認定工法・配管別と認定の分類・・・有無			
□給水管 □汚水管 □雑排水管 □通気管 □配電管			
□FDP □配管(水) □ケーブル □配管(電) □他()			
5) 貫通部のモルタル等による穴埋めの状態・・・	良 否		
6) 上記2)及び3)の適用部分の施工状態・・・	良 否		
7) 大臣認定工法条件による施工状態・・・	良 否		
6. 給水管は飲料水用に適した材質の確認 ・・・	良 否		

6. 避雷設備 (令第129条の14及び15)																													
報告事項	状況																												
* <input type="checkbox"/> 印には該当する項目にγを付し()内は記載する。																													
<input type="checkbox"/> 避雷設備 JIS A 4201:1992 を適用 被保護物の高さ (m) 1. 受雷部の種類 <input type="checkbox"/> 突針型 <input type="checkbox"/> むね上げ導体型 <input type="checkbox"/> 突針・むね上げ導体併用型 <input type="checkbox"/> 独立避雷針型 <input type="checkbox"/> 独立架空地線型 <input type="checkbox"/> ゲージ型 突針型・保護角 <input type="checkbox"/> 60度 <input type="checkbox"/> 45度 設置数 (本・最長高さ m) むね上げ導体型 (導体型の設置間隔 m) * 各部の取付け、接続等の状況・・・	良 否																												
2. 避雷導線 (引下げ導線を含む) <input type="checkbox"/> 直接法 引下げ導線数 (条) <input type="checkbox"/> 簡略法 鉄筋等への溶接等 (上部 箇所・下部 箇所) * 受雷部及び接地極の接続・溶接等の状況・・・	良 否																												
3. 接地極の種類 <input type="checkbox"/> 銅板 (箇所) <input type="checkbox"/> 銅棒 (箇所) <input type="checkbox"/> 鋼管 (箇所) <input type="checkbox"/> その他 (箇所) * 埋設方法 及び 埋設の状態・・・	良 否																												
4. 施工写真 溶接部及び埋設部の写真 (代表箇所) を添付 (確認)	良 否																												
<input type="checkbox"/> 避雷設備 JIS A 4201:2003 を適用 被保護物の高さ (m) <input type="checkbox"/> 外部雷保護システムのみ <input type="checkbox"/> 内部雷保護システムを含む 1. 受雷部の種類 <input type="checkbox"/> 突針型 <input type="checkbox"/> 水平導体型 (棟上導体・架空地線) <input type="checkbox"/> メッシュ導体型 <input type="checkbox"/> 金属構造体利用型 <input type="checkbox"/> 上記の組み合わせ () * 各部の取付け、接続等の状況・・・	良 否																												
2. 保護範囲 保護レベル・・・・・・・・ <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> 保護角法 (適用角度) <input type="checkbox"/> 25度 <input type="checkbox"/> 35度 <input type="checkbox"/> 45度 <input type="checkbox"/> 55度 <input type="checkbox"/> 回転球体法 (半径) <input type="checkbox"/> 20m <input type="checkbox"/> 30m <input type="checkbox"/> 45m <input type="checkbox"/> 60m <input type="checkbox"/> メッシュ法 (水平導体) <input type="checkbox"/> 5m <input type="checkbox"/> 10m <input type="checkbox"/> 15m <input type="checkbox"/> 20m	良 否																												
<input type="checkbox"/> 金属構造体利用 建築物構造体と電氣的接続の状態・・・		良 否																											
3. 引下げ導線システム <input type="checkbox"/> 引下げ導線方式 引下げ導線数 (条) <input type="checkbox"/> 構造体利用方式 鉄筋等への溶接等 (上部 箇所・下部 箇所) * 受雷部及び接地極の接続・溶接等の状況・・・		良 否																											
4. 接地システム <input type="checkbox"/> A 型 接地極・・・ <input type="checkbox"/> 放射状 <input type="checkbox"/> 垂直 (傾斜) <input type="checkbox"/> 板状 <input type="checkbox"/> B 型 接地極・・・ <input type="checkbox"/> 環状 <input type="checkbox"/> 網状 <input type="checkbox"/> 基礎接地極 (接地極省略判定記録書を添付) * 埋設方法 及び 埋設の状態・・・		良 否																											
5. 施工写真 溶接部及び埋設部の写真 (代表箇所) を添付 (確認)																													
避雷設備概略図 (受雷部、導線、接地極及び外周長等を記載する)																													
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>																													
接地抵抗測定記録 JIS A 4201:1992 測定日 平成 年 月 日 天候																													
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">接地極記号 (上図参照)</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">判定</td> </tr> <tr> <td>単独接地抵抗値 Ω</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>良 否</td> </tr> <tr> <td>総合接地抵抗値 Ω</td> <td colspan="6" style="text-align: center;">$R = 1 / (1/R_1 + \dots + 1/R_n)$</td> <td></td> <td>良 否</td> </tr> </table>			接地極記号 (上図参照)								判定	単独接地抵抗値 Ω								良 否	総合接地抵抗値 Ω	$R = 1 / (1/R_1 + \dots + 1/R_n)$							良 否
接地極記号 (上図参照)								判定																					
単独接地抵抗値 Ω								良 否																					
総合接地抵抗値 Ω	$R = 1 / (1/R_1 + \dots + 1/R_n)$							良 否																					
測定者 氏名 _____ ㊞ 会社名 _____																													

7. ガス設備 (令第129条の2の5)									
(3階以上の階を共同住宅の用途に供する建築物の住戸が対象)									
報 告 事 項			状 況						
<p>* 有無に○印を□印には該当する項目にγを付し()内は記載する</p> <p>* 数量は全戸数分を記載する</p> <p>1. ガスの種類</p> <p>□ 都市ガス13A □ LPG □ その他 ()</p> <p>2. ガス漏れ警報設備の設置 有 無</p> <p>設置基準による取付け状態</p> <p>3. ガス栓の種類</p> <p>(1) 台所用 ((3) の給湯器を除く) 有 無</p> <p>□ ヒューズガス栓 □ ネジガス栓</p> <p>設置個数 品番 _____ 個</p> <p>品番 _____ 個</p> <p>(2) 居室用 「ヒューズガス栓」 有 無</p> <p>設置個数 品番 _____ 個</p> <p>品番 _____ 個</p> <p>(3) 屋内給湯器用 有 無</p> <p>□ 機器接続ガス栓 □ 可とう管ガス栓 □ ネジガス栓</p> <p>設置個数 品番 _____ 個</p> <p>給湯器の台数 型番 _____ 台</p> <p>排気筒 □ 有 (mm/φ m) □ 無</p> <p>給排気 □ F F 式</p>				<p>良 否</p> <p>良 否</p> <p>良 否</p> <p>良 否</p> <p>良 否</p> <p>良 否</p> <p>良 否</p> <p>良 否</p>	<p>(4) 屋外給湯器用 有 無</p> <p>□ 機器接続ガス栓 □ ネジガス栓</p> <p>設置個数 品番 _____ 台</p> <p>品番 _____ 台</p> <p>給湯器の設置場所</p> <p>□ MB・P S □ バルコニー □ その他 ()</p> <p>給湯器の台数 型番 _____ 台</p> <p>型番 _____ 台</p> <p>排気筒 □ 有 (mm/φ m) □ 無</p> <p>(5) (1)～(4) のガス栓の取付け状態 良 否</p> <p>4. ガス栓とガス機器との接続状態 良 否</p> <p>「可とう管接続工事的表示」ラベルの確認</p> <p>5. ガス機器の未設置 有 無</p> <p>プラグ止めの状態及び注意書付せんの取付の確認 [箇所] 良 否</p> <p>6. 超高層建築物 (高さ6.0mを超えるもの) 有 無</p> <p>緊急ガス遮断装置 (ガス引込管) の設置状態 良 否</p> <p>7. ガス機器の給排気設備等 有 無</p> <p>ガス機器に対応する給排気の設置基準とその取付け (含耐震) 状態 . . . 良 否</p>				<p>共同住宅の名称</p>
			共同住宅の名称						
階 数		戸 数		備 考					
ガス工事業者名									

8. シックハウス対策用換気設備 (令第20条の7及び8)		風量測定記録			法定換気回数 N	回/h	測定日 平成 年 月 日				
					測定者氏名 _____			会社名 _____			
報告事項	状況	換気 エリア 番号	換気 種別	室名	床面積 A (㎡)	気積 v A×h (m³)	法定換気量 Q V×N (m³/h)	実測風量 (m³/h)		★ 実 換気 回数	備考 機器の型番と能力
								給気	排気		
* <input type="checkbox"/> 印には該当する項目に γ を付す											
1. 換気エリア、換気経路、間仕切り建具等の通気性の状況・・・ <input type="checkbox"/> 換気計画書を添付、又は <input type="checkbox"/> 検査員に提示する。	良 否										
2. 換気種別 <input type="checkbox"/> 第1種 <input type="checkbox"/> 第2種 <input type="checkbox"/> 第3種・・・	良 否										
3. 必要換気回数 (回/h) <input type="checkbox"/> 0.3 <input type="checkbox"/> 0.5 <input type="checkbox"/> 0.7・・・	良 否										
4. 換気設備のスイッチに 常時運転する旨の注意書等の表示・・・	良 否										
5. 換気装置の取付け (含耐震) 状態、運転状況・・・	良 否										
6. 給排気口の位置、大きさ、雨、虫除け対策の状況・・・	良 否										
7. 換気ダクトの施工状況 防火区画貫通 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり、貫通部の措置・・・	良 否										
延焼線にかかる開口部 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり、開口部の措置・・・	良 否										
ダクトの材質の規制 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり、材質の確認・・・	良 否										
8. 換気装置の能力 (風量測定記録) 次の イ・ロ・ハ の何れかの方法により風量の確認・・・	良 否										
なお 何れの方法でも実換気回数を右の該当欄 ★ に記入する。											
イ. <input type="checkbox"/> 風量測定を行い、測定値を右の実測風量欄に記入する。											
ロ. <input type="checkbox"/> 換気装置のダクト等の圧力損失計算を基に選定した機器 を設置したものは、風量の実測を省略することができる。 <input type="checkbox"/> 圧損計算の資料を添付 <input type="checkbox"/> 又は 検査員に提示 なお、機器の型番と能力を備考欄に記入する。											
ハ. <input type="checkbox"/> 壁付け換気扇 (これに類するものを含む) についても、 風量の実測を省略することができる。 <input type="checkbox"/> 換気扇の資料を添付 <input type="checkbox"/> 又は 機器の型番と能力を備考欄に記入する。											
ニ. <input type="checkbox"/> 中央管理方式の空調の場合は、様式3 による報告で可。											
9. 換気エリアが複数の場合は、全てのエリアについて上記の 項目を確認・・・	良 否										
* 換気エリア番号から所要換気量までは、確認申請書の記載内容を転記 (修正を含む) する。 * 第2種換気設備の場合、排気欄には → 印を記入する。 * 第3種換気設備の場合、給気欄には → 印を記入する。											

9. 機器・機材（認定番号・型番等）その他の変更

監理（主任）技術者 氏名 _____ ④

確認申請時に明示した機器・機材の大臣認定番号・型番等を、変更して設置したので報告します。 会社名 _____

分類	設置場所	確認申請時		工事完了時		備考
		認定番号・機器等の型番等	製造者名	認定番号・機器等の型番等	製造者名	
大臣認定 機材工法 の番号						
機器・機材 型番・品番						
その他 の項目	設置場所	変更項目と概要				